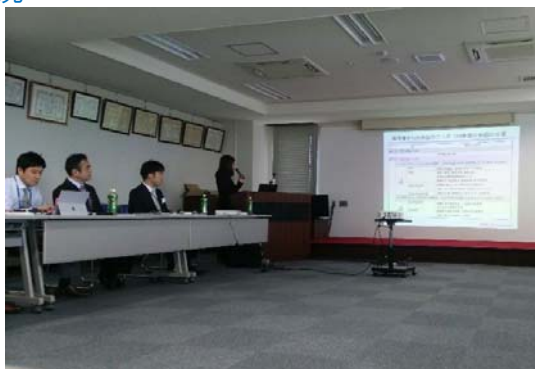


## 開催概要

- 名称 平成30年度 EMC勉強会
- 会期 2018年4月26日(木) 10:50~14:50
- 会場 BSNアイネット 会議室
- 主催 にいがたGIS協議会
- 講師 にいがたGIS協議会 会長 坂井宏子
- 参加者 (協)くびき野地理空間情報センター 7名  
(一社)長岡GIS研究会 8名  
にいがたGIS協議会 7名
- 内容 EMC概要説明
  - ・中越沖地震(2007年7月17日)発生時のEMCの立ち上げ、運営についてデモンストレーション
  - ・EMCで作成した業務支援地図のデモンストレーション
  - ・受付~相談~地図作成に至る工程の説明
  - ・データベース作成における県との役割分担の説明意見交換
  - ・災害発生時に迅速に対応するためのEMC活動について

## ■ 受講状況



受講風景1



受講風景2

## ■ コメント

本勉強会は、新潟県とGIS県内3団体が『災害時応援業務協定』を締結したことにより、災害時に被災・復旧状況を迅速に電子地図化し業務支援することを目的として開催しました。

中越沖地震の際に実際に行った作業内容を説明して頂き、今後の災害への備えに対する課題等を意見交換しました。

中越沖地震発生時は当研究会は発足したばかりで、何も協力することが出来ませんでした。EMC活動に携わった方々のお話を聞くと、その当初、暗中模索して地図作成にご尽力されたことに感心するばかりでした。

災害発生時に迅速に業務支援できるように産官学民の連携体制を明確にしておくことや、平常における基礎データの集約や整備、また災害時の業務マニュアルをルール化しておくことはもちろんのこと、GIS技術者の育成や、利用者のGISに対する基礎知識教育、ひいては応用、活用に至るまで適切な判断ができるよう更なる技術力向上の必要性を感じました。